
第 11 報 平成 23 年 4 月 28 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

財団法人 経済調査会

【東北地区アスファルト混合物】

設備に被害のあった工場の復旧が進んでいる。青森県、秋田県、山形県、岩手県の全工場が運転可能で、宮城県では、復旧作業中だった仙台市の 1 工場が 4 月 27 日から出荷を再開した。残るは、岩沼市の 1 工場となった。福島県内では原発事故による避難で、沿岸部（双葉町、浪江町、広野町）の 3 工場が依然として再開できない状態となっている。

【合板】

被災地区への輸送は、港が使用できないことから関東からの陸送となる。大口でなければ型枠工事業者が既存ルートで調達できている。市中在庫は少ないが、海外産地から順次入荷しており、供給面への懸念も薄れている。

針葉樹構造用合板は荷動きが徐々に改善し、市場での混乱は収束しつつある。

【仮設ハウス】

（社）プレハブ建設協会を中心に、加盟メーカーおよび協力メーカーが全国の生産ラインを使いフル生産を続けている。メーカー各社は、需給がひっ迫している合板や断熱材についても被災地向けは当面の量を確保しており、供給に問題は出ていない。

【問い合わせ先】

財団法人 経済調査会

土木第一部・土木第二部

TEL 03-3543-1471

【東北地区 アスファルト混合物プラント稼働状況】

1. アスファルト混合物 — 4月27日確認状況

震災および余震により設備に被害のあった工場の復旧が進んでいる。青森県、秋田県、山形県、岩手県は全工場とも運転可能であり、宮城県内では、復旧作業中だった仙台市の1工場が4月27日から出荷を再開したため、現在運転ができない工場は、岩沼市の1工場（水没被害、再開には建て替えとなる。おそらく来年になる可能性あり）のみ。福島県内で現在運転ができない工場は沿岸部（双葉町、浪江町、広野町）の3工場（原発事故による避難の影響）のみである。

ただし、混合物の製造・供給には、停電、スト・アス等原材料確保、加熱設備および輸送用の燃料確保の事情が関わるため、出荷対応の可否については事前の確認を要する状況に変わりはない。

【ストレートアスファルト供給情報】

①製油所の状況について

2011/04/26確認

製油所・工場名	所在地	稼働状況	出荷状況		備考	
			陸上出荷	海上出荷		
JX日鉱日石 エネルギー	仙台製油所	宮城県	×	×	×	震災の影響により出荷再開時期未定
	鹿島製油所	茨城県	×	×	×	震災の影響により出荷再開時期未定
	根岸製油所	神奈川県	○	○	○	一部グレードを除き通常通り出荷
コスモ石油	千葉製油所	千葉県	×	×	×	燃料油は、一部出荷再開も、スト・アスに関しては出荷不可の状態が続いている。
	四日市製油所	三重県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能
	堺製油所	大阪府	—	—	—	2010年3月より生産停止 (燃料油は問題なく生産・出荷中)
	坂出製油所	香川県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能
昭和シェル	東亜石油(株) 扇町工場	神奈川県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能
	昭和四日市石油(株) 四日市製油所	三重県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能
	西部石油(株) 山口製油所	山口県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能

※稼働状況：工場が製造を継続している場合は○、稼働していない場合は×で表示。

※出荷状況：出荷している場合は○、出荷していない場合は×で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

現在、関東、東北地区において稼働している製油所は、昭和シェル(東亜石油)、JX(根岸製油所)の2社2製油所となった。JXの根岸製油所の出荷も一部グレードを除き通常出荷時にもどるなど、関東地区での供給は、安定してきている。
また、東北地区における生産拠点・油槽所が被災により減少しており、通常より遠方からの輸送を余儀なくされている。そのため、運搬コストを始めとしてよりコストの高いアスファルトを使用せざるを得ない状況が続いている。

【改質アスファルト供給情報】

①製造拠点(工場等)の状況について

2011/04/26確認

工場名		所在地	稼動状況	出荷状況	備考
日進化成	東北工場	岩手県	○	○	出荷中。スト・アス入荷減少。
	関東工場	埼玉県	○	○	出荷中。今後のスト・アス入荷が厳しい状況。
ニチレキ	青森工場	青森県	○	○	原材料、燃料の入手が難しい。
	仙台工場	宮城県	×	×	津波の影響により被災、再開の時期未定。
	千葉工場	千葉県	○	○	原材料、燃料の入手が難しい。
東亜道路	青森工場	青森県	○	○	流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	岩手工場	岩手県	○	○	流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	宮城工場	宮城県	×	○	近隣自社工場より材料供給を受けて出荷を開始した。工場は、5月の再開を予定している。
	福島工場	福島県	○	○	流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	茨城工場	茨城県	○	○	流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	群馬工場	群馬県	○	○	稼動中。流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	千葉工場	千葉県	○	○	流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	神奈川工場	神奈川県	○	○	流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
	長野工場	長野県	○	○	流通の関係で資材など手に入りにくくなっており支障をきたしている。燃料入手困難で出荷困難な状態は徐々に改善の兆し。
昭和シェル	瀝青化学 袖ヶ浦工場	千葉県	○	○	設備稼働に問題なし。一部の原材料が入手しづらくなっている。
	三重プラント	三重県	○	○	設備稼働に問題なし。一部の原材料が入手しづらくなっている。

※稼動状況:工場が製造を継続している場合は○、稼動していない場合は×で表示。

※出荷状況:出荷している場合は○、出荷していない場合は×、燃料、原材料がなく出荷できない場合は△で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

関東地区のスト・アス入荷は、改善されてきているが、東北地区においては、依然ストアスの入荷が困難な状態が続いている。

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および
供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	被災地域への供給体制	被災地域以外への供給体制	備考(価格動向・買占め状況等)
共通資材	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	販売店	4月26日	荷揚げ港、港頭倉 庫に被害が出てい る。	被災地区は港が使用出来ないか 制約があるため、関東からの陸送と なる。とりわけ大口で無ければ型枠 工事業者が既存ルートで調達出来 ている様子。輸送面も改善しつつあ る。	とりわけ大口で無ければ型枠工事業 者が既存ルートで調達できている様子。 輸送面は改善している。	市中在庫は少ないが、海外産地から順次入荷し ており、供給面への懸念も薄れている。
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	販売店	4月26日	宮古、石巻、大船渡 など、製造工場が被災。現在復旧作業中 だが、製造再開は未 定。	供給面では、メーカーは仮設住宅 向けを最優先としているものの、一 般ルートでは、損壊住宅の修繕等で 調達困難な場面も見られる。輸送面 は改善しつつある。	供給面で品薄感は薄れつつあり、大 手ハウスメーカー・ビルダー・プレカット メーカーでは、十分に確保できている会 社も多いが、一般物件では、まとまった 量の確保は難しい状況が続いている。	荷動きは徐々に改善し、市場の混乱は収束しつ つある。また、おう盛な買い注文が治まったことで、 需給のタイト感は一時より軽減している。しかし、国 内針葉樹合板メーカーの在庫が少なくなってきてい るうえ、輸入ラワン構造用合板の本格的な入荷は5 月中旬以降との見通しから、タイト感の解消にはも う少し時間がかかるものとみられる。
共通資材	木材	226 ～ 229	仮設・ 土木用 木材	販売店	4月26日	主だった産地に特に 目立った被害は見ら れていない。また、余 震の影響により、稼働 率が悪化していた一 部の製材工場おいて は、稼働状況が回復 している。	仮設住宅向けに矢板や杭の需要 がおう盛となっており、これまでの産 地だけでは供給不足となるため、他 地域(北海道など)からも手配し供給 体制を整備している。	被災地域向けへの優先供給に伴い、 地域によっては、やや品薄感の見られ るアイテムもある。	需給ひっ迫感から完全に脱し切れていないことか ら、価格は強含み。
共通資材	木材	230 ～ 237	一般 建築用 木材	販売店	4月26日		板材の一部に不足感があるもの の、構造材を中心に品薄感はない。	板材の一部に不足感があるものの、 構造材を中心に品薄感はない。	合板の代替として引き合いの見られる板材につ いて、強含みの状況が続いている。それ以外は、 大きな変動は見られていない。

月刊「積算資料」掲載品（一般資材） 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および 供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	供給体制について	備考
土木資材	軽仮設資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	全国仮設安全事業組合・軽仮設リース業協会	4月26日	被災地の一部事業所で材料流出や工場設備に被害があったが、復旧している	現時点では東日本大震災向けの引き合いは少なく、保有量に問題はない。 被災地以外の供給は平常通り。	
土木資材	軽仮設資材	262(販売) 284(リース)	仮設ハウス	プレハブ建築協会、メーカー各社	4月26日	被災地の一部工場で工場設備に被害があったが、復旧している	被災地向けは、(社)プレハブ建築協会を中心に加盟メーカーおよび協力メーカーが全国の生産ラインを使いフル生産を続けている。メーカー各社は、需給がひっ迫している合板や断熱材についても被災地向けには当面の量を確保しており、供給に問題は出ていない。現場事務所用のリース品は被災地以外では在庫がみられるが、被災地では品薄となっている。	
土木資材	軽仮設資材	260 264	ブルーシート、土のう	メーカー、販売店各社	4月26日	なし	ブルーシートは、引き合いが多く在庫は品薄状態が続いているが、震災直後に比べると落ち着いた状況になりつつある。 土のうは、引き続き被災地向けの引き合いが多く在庫は品薄状態が続いている。特にがれき類を入れる1tタイプのフレコンの不足感が強い。	

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および 供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	被災地域への供給体制	被災地域以外への供給体制	備考(価格動向・買占め状況等)
共通資材	賃貸料金・副 資材	265	建設機械器 具賃貸料金	建設機械器具レンタ ル業者	4月26日	運搬経路は徐々に回復し、建機の運搬状況も改善されてきている。引き続き他県・他地区からの供給体制は継続している。	がれき撤去作業を中心にバックホウ・ダンプカーが、工場等の予備発電で発電機の引き合いが多い。	今のところ、特に品薄感は生じていない。	宮城・福島県で発電機・ポンプなど一部品目で品薄感が出てきている。市況については、地場ゼネコンを中心とする顧客向けに高唱えは難しい状況で、今のところ据え置きで推移している。参考:災害関連について建設機械器具レンタル業者のHP レンタルのニッケン http://www.rental.co.jp/ 株式会社カナモト http://www.kanamoto.co.jp/Measures/index.html 株式会社共成レンテム http://www.kyosei-rentemu.co.jp/

月刊「積算資料」掲載品（一般資材） 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および
供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	被災地域への供給体制	被災地域以外への供給体制	備考(価格動向・買占め状況等)
機械設備資材	配管資材	782	硬質ポリ塩化ビニル管	大手メーカー、流通	4月27日	被災した工場が操業を再開。生産能力はほぼ回復している。	被災地向けを優先して出荷している。今後、想定される需要の増加に対応するため増産体制にある。	被災地向け優先の供給体制となっているため、全国的にはやや品薄傾向にあり、メーカーは仮需的な引き合いには出荷を控えている。納期遅れもみられるが、一般物件への供給には概ね支障は出ていない。	今のところ価格の変動は見られないが、塩ビ樹脂の値上がりを受けて、一部メーカーが5月からの値上げを表明しており、先行きは強含み横ばい。